

実行委員長あいさつ

元吉原小学校創立150周年、おめでとうございます。

お祝いの会を開催するにあたり、ご支援ご尽力を賜りました校長先生をはじめ諸先生方、サポートボランティアの皆様、PTA、地域の皆様には厚く御礼申し上げます。

元吉原小学校は150年前の明治7年10月に開校し、多くの卒業生が学び舎を巣立ちました。3代も4代もこの元吉原小学校に通われているご家庭もあるかと思います。私も平成5年度に卒業いたしました。我が子が元吉原小学校に入学し、保護者として学校に携わる中でPTA会長という大役も経験させていただきました。また、今回実行委員長として150周年の節目を迎えられたことは、感慨深く、光栄に思います。

いつの時代も、学校は子どもが主役です。明るく未来ある子供たちが成長する場所として、これからもより良い環境を作るためサポートしていけたらと思います。元吉原小学校に通う子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様のご健康とご多幸を願い、挨拶とさせていただきます。

PTA会長あいさつ

元吉原小学校がこの度、創立150周年を迎えられたこと、保護者を代表してお祝い申し上げます。私自身も、この歴史ある「学び舎」にて6年間を過ごし、仲間との協調性や粘り強く物事に取り組む姿勢など、その後の人生において糧となる貴重な経験を積むことができてきました。

さて、現代は、グローバル化や情報技術が世の中に浸透し、社会の在り方そのものに劇的な変化が生じています。こうした時代にあっても、誰一人取り残さず、全ての子どもの可能性を引き出す学びや、他者への共感、寛容性などを育成することが重要であります。そのためには、学校教育の枠を超えた、家庭、地域との連携・協働による体験的な活動や主体的・対話的な学びの充実が不可欠です。私たち現役PTAもこの150周年という大きな節目を機縁として、学校、地域の皆様とともに力を合わせ、子どもたちの未来、ひいては地域社会の発展のため一層努力する所存です。

結びに、創立以来長きにわたり元吉原小学校の歴史と伝統を紡いできた先生方、卒業生、地域の方々、保護者の皆様に改めて感謝を申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

元吉原吹奏楽クラブ

昭和50年代に校内のクラブ活動としてスタートした、富士市内では貴重な伝統ある小学校の吹奏楽クラブです。

令和3年度から、清洲様をはじめ、古くから関わってくださっているボランティアの方々や保護者の皆様のお力をいただき、地域の団体として活動しています。現在は、3～6年生の音楽が好きな小学生を中心として、元吉原小学校だけでなく、他校の小学生や大人の方々も一緒に音楽を楽しんでいます。

毎週土曜日に元吉原小学校の体育館で練習しています。令和7年2月24日には、ロゼシアターでの演奏会も予定しています。興味のある方や入会希望の方は、いつでも見学に来てください。

講師紹介 梅原 久司 様

梅原様は、およそ60年前に元吉原小学校、その後元吉原中学校を卒業されました。勤務修了後は、郷土の歴史を勉強し、10年以上もの間、地域の新聞社に富士・富士宮市の歴史物語を掲載されています。

元吉原小学校には、地域ボランティアとして、主に4年生の郷土歴史学習に関わり、子どもたちの学びを支えてくださっています。

創立150周年、おめでとうございます

元吉原小学校は、これからも町の中心にあり、笑顔があふれ、そして時々厳しく、子どもたちの心と体を育ててくれる場所であり続けるよう願っています。

梅原 久司

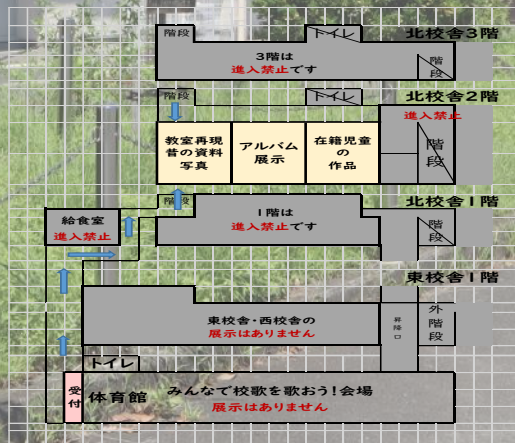
150周年記念品について

元吉原地区まちづくり協議会様、元吉原町内連合会様より元吉原小学校150周年記念実行委員会あてに、寄付をしていただき、本日、お祝いの会に参加して下さった皆様に記念品としてお配りする定規を準備することができました。心より御礼申し上げます。

定規に描かれているキャラクターは、約10年程前、笑顔あふれる学校にしていこうという願いを込めて誕生し、元吉原小学校児童会会のイメージキャラクターとして親しまれている“えがオン”です。末永く、この元吉原で愛される“えがオン”でありますように…。



北校舎の展示紹介



富士市立元吉原小学校 創立150周年 お祝いの会

令和6年10月9日(水)
10:25～12:05

令和6年度

小中一貫学校教育目標
人として 熱く 優しく たくましく

重点目標
自分で みんなで さいごまで

プログラム

【第1部】

10時25分～10時30分 始めの言葉
10時30分～11時10分 元吉原郷土カルタ大会
11時10分～11時20分 休憩・移動

【第2部】

11時20分～11時40分 講話「元吉原の歴史」
講師：梅原 久司様
11時45分～11時50分 みんなで校歌を歌おう
演奏：元吉原吹奏楽クラブ
11時55分～12時00分 校長より
12時00分～12時05分 終わりの言葉

元吉原小学校校歌

南 信 一 作 詞
岩 井 真 吾 作 曲

一 東 海 の み 空 高 く
富 士 晴 れ て 雲 光 る 時
わ が 幸 福 は 胸 に あ ふ れ
は つ ら つ と
希 望 の 翼 学 窓 に 羽 ば た く
あ あ 元 吉 原 小 学 校
二 砂 白 き 松 の 林
緑 葉 に 風 渡 る 時
身 も 魂 も 強 く 明 る く
健 や か に
若 き い の ち 校 庭 に 伸 び ゆ く
あ あ 元 吉 原 小 学 校
三 浜 清 き 田 子 の 浦 曲
潮 の 穂 に か も め 舞 う 時
睦 ま じ く 力 あ わ せ て
ひ と す じ に
励 む 喜 び 学 園 に み な ぎ る
あ あ 元 吉 原 小 学 校

昭和33年、当時の学校長であった今村甲子夫先生が、師範学校の先輩で、オペラ歌手をしていた岩井真吾さんをお願いをして、校歌がつくられたそうです。今村校長先生は俳人でもあり、「東海の御空神立つ深雪富士」と詠んだ俳句から、「東海のみ空」を歌詞に入れてほしいと希望され、校歌の冒頭に入っています。

学校長あいさつ

明治7年に香久舎として開校した元吉原小学校は、地域の皆様が大切に守り、育ててくださったおかげで150周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。そしてこの記念すべき時に、この元吉原小学校で子どもたちをはじめ、保護者の皆様、地域の方々とめぐりあえたことを本当に幸せに思います。

長い歴史の中で、乗り越えなければならない困難や試練が幾度かあったことがっております。明治時代の会議記録に、「温順気風」という言葉、昭和の研修資料には「浜っ子のよい気風」という表現がありました。元吉原地区の穂やかで心あたたい、そして芯のある気風は、いくつもの時を重ねても、令和に生きる本校の子どもたちにな変わることなく受け継がれ、教室はいつも柔らかな明るい笑顔と元気な声で活気にあふれています。また、学校には本日のようなイベントはもちろん、日常生活でも地域や保護者の皆様がボランティアとして子どもたちの活動を支えてくださっています。これは本校の大きな自慢です。

これから先の世の中は今以上に予測困難な時代となるでしょう。しかし、この元吉原に生きる子どもたちがたくましく、地域の皆様とともに、明るい未来を創り続けていけるよう、心を寄せ合い、高め合える小学校であるよう教職員一同努力してまいります。今後とも、元吉原小学校の教育活動にご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

運営委員長あいさつ

元吉原小学校の開校150周年お祝いの会に、運営委員長として参加することができ、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。150年の歴史とともに、私たちの学校は、地域の方々とたくさん関わってきました。

私が体験した中で、特に元吉原小学校らしい取組として、トーク・フォークダンスという地域の方々と語り合うイベントや、6年生の交通安全リーダーと語る会があります。年齢の違う経験豊かな方々と語り合うことで、会話を楽しみながら多様な意見に触れ、自分の考えを深めることができます。また、お祝いの会の中で行う「元吉原郷土カルタ」も元吉原の小学生・中学生・地域の方々と協力して作った、この地域ならではのものです。

そして、特に思い出に残っているのは5年生の時の総合的な学習で、「だるま」と「SL」について調べ学習をしたものを吉原駅の待合室と岳南鉄道の電車で飾ってもらったことです。新聞社やテレビ局の人からインタビューも受けて緊張したけれど、多くの人に自分たちの活動や元吉原の良さを知ってもらうとても良い機会になりました。

このように、元吉原小学校は地域の方々と関わりながら有意義な学校生活を送っています。私たちが大人になっても、この元吉原地区や元吉原小学校で多くの人の関わりが続き、より深まってほしいと願っています。

元吉原小学校の歴史(れきし)

